メータオ・クリニック支援の会（ＪＡＭ）
会報メール　第 141 号
〔2023 年 12 月発行〕

NPO 法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援いただき、誠にありがとうございます。
JAM より、2023 年 12 月号の会報をお送りします。

JAM は 2008 年 3 月に発足した NGO です。ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。
支援者の皆様へ JAM の最新の活動を２カ月に一度、会報メールにて発信いたします。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

＜目次＞

会員更新手続きのお願い

JAM オリジナルカレンダーをお届けします

現地（メソト）から

国内から

国際保健医療協力のなかで（57）

編集後記

次号の予定

賛助会員の皆様へ　会員更新手続きのお願い

平素よりメータオ・クリニック支援の会（JAM）の活動に深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、賛助会員の皆様へ会員の更新をお願いしたく、ご連絡いたします。

当会は**賛助会員の更新時期を年末に揃えさせていただいております。**
そのため、**会員期間は、今月末の令和 5（2023）年 12 月末をもちまして終了**となります。

引き続きご支援を賜りたく、ご賛同いただける方は下記の要領にて会員更新の手続きを宜しくお願いいたします。

更新の対象となる皆様には、先日、JAM オリジナルカレンダーと共にご案内の文書を郵送いたしました。ご不明な点は、事務局（support@japanmaetao.org）までお問い合わせください。

更新の対象となる方：令和 4 年 7 月～令和 5 年 6 月までに入会および更新いただいた皆様

半年以上前に新規入会および更新のお手続きがお済みの方につきましては、会員期間は、今月いっぱい、令和 5（2023）年 12 月末をもちまして終了となります。
更新いただける場合は、お手数ですが令和 6 年 1 月末までに手続きをお願いいたします。
更新後の会員期間は**令和 6（2024）年 12 月末まで**となります。

すでに会員期間が過ぎてしまった皆様におかれましても、新たに賛助会員としてご支援いただけましたら大変有り難く存じます。更新期間を過ぎてからお手続きをしていただける場合は、お手数ではございますが、当会ホームページより新規の方法でお手続きください。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、更新を希望されない方につきましては、手続きはご不要です。またご支援いただける機会をお待ちしております。

賛助会員 更新手続き（年会費入金）の方法について

■下記の年会費をお振込みください。

＜年　会　費＞
一般会員：　３，６５０円／年
学生会員：　１，８２５円／年
法人会員：３６，５００円／年

＜振込先口座＞
ゆうちょ銀行（銀行コード 9900）
支　店　名：〇一八（ゼロイチハチ）
口座名義：NPO 法人 メータオ・クリニック支援の会
（カタカナ）　トクヒ）メータオ　クリニックシエンノカイ
口座番号：10140－8960841
＊他行からのお振込みの場合　普通 0896084

＊ホームページ（www.japanmaetao.org）から**クレジットカード決済も可能です。**
「あなたとできること」→「賛助会員になる」の下「クレジットカードによるお申し込みはこちら」へお進みください。

※ 当会が入金の確認をもって手続き完了となります。メールにてお知らせいたします。

■注意事項
・住所、氏名、メールアドレスに変更がある場合
・振込名義がご本人でない場合
→事務局（support@japanmaetao.org）までご連絡ください。
（ご住所は、12 月にカレンダーをお送りさせていただくために使用します）

賛助会員の皆様へ　JAM オリジナルカレンダーをお届けします

今年も、ご好評いただいている毎年恒例の JAM オリジナルカレンダーを作成しました。
賛助会員の皆様には、当会にご登録いただいているご住所あてに発送いたしましたので、すでにお手元に届いているかと存じます。

更新の時期が来ている方には、カレンダーと共に更新のご案内の文書を同封させていただいておりますので、お手数をおかけいたしますが、どうぞ引き続き、更新のお手続きをしてくださると幸いでございます。
万が一、まだカレンダーがお手元に届いていない場合は、お手数をおかけいたしますが、事務局までお問合せくださると助かります。

来年もどうぞよろしくお願いします。

現地（メソト）から

【メソト：有高　奈々絵】

あっという間に今年もあとわずかになり、メソトも朝晩は半袖では肌寒く感じるようになりました。

さて先月、ミャンマーで長年ボランティア歯科医師として活動していらっしゃる松本敏秀先生と松本さえ様のご夫妻がメソトを訪問されました。

ミャンマーのなかでも、特に少数民族地域では、歯科医師や歯科衛生教育を提供する場所が少なく、歯科治療を受けるのも虫歯予防のための知識を得るのも難しいのが現実です。松本先生は 2011 年から主に少数民族地域で、歯科治療、歯みがき指導、うがい、手洗い、口腔からの感染予防を目指した口の体操「あいうべ体操」などの啓発活動を開始されました。「ミャンマーの問題はミャンマー人の手で解決を」との考えのもと、ともに活動するミャンマー人歯科医師や教師、現地 NGO スタッフなどの知識や技術の習得に協力し、最終的にはミャンマー人により活動が継続できることを目指していらっしゃるとのことです。年の半分はミャンマーに滞在され、50 か所ほどの学校、孤児院、国内避難民キャンプなどへの定期的な訪問、またヤンゴン歯科大学などでの指導、ミャンマー人歯科医師に対する地元福岡での短期研修など、まさに草の根、かつ持続可能性に富む意義深い活動をなさっています。また松本さえ様は鍼灸師、日本語教師として日本やタイ、ミャンマーで活動され、松本先生の活動にも協力されています。

しかし、おふたりともコロナ禍、そしてクーデター以降はミャンマーへ渡航できない日々を余儀なくされているため、ミャンマー人移民、避難民の多い場所での活動を模索し、今回メソトを訪問されました。いくつかの移民学校で歯科啓発活動を行われ、私もその一か所に同行させていただきました。歯磨き指導だけでなく、はじめに三線をつま弾きながら一緒に歌って子供たちの緊張をほぐしたり、表情豊かな「あいうべ体操」の実演など、ご専門が小児歯科だけあって子供の心をひきつける、楽しい時間でした。

予防が治療に勝るのは、医療へのアクセスや経済的理由で治療が難しい場合、とくに確実で、シンシア院長もよくメータオ・クリニックは治療と同時に予防のセンターであると語っています。また外国人が現地に行って何かをするだけでは、知識や技術を真に根付かせるのは難しく、現地の専門家、関係者と協同し、最終的には彼らだけで必要な活動を引き継いでもらえるようになることが「ミャンマーの問題はミャンマー人の手で解決」するために重要なのだと思います。このような素晴らしい活動をミャンマーで地道に行っている日本の歯科医師がいらっしゃるのを、私は恥ずかしながら今回初めて知りました。ミャンマー愛にあふれる松本先生がかの地での活動を中断せざるを得ないのは悲しいことですが、またメソトに来ていただけるとのことなので、メソトでの今後のご活躍を楽しみにしています。

写真上：三線をつま弾く松本先生

写真上：歯磨き指導

写真上：歯ブラシを提供しました

今年 JAM は移民学校 2 校に、教室とキッチンの建設を支援しました。

教室を建設したのは、長年 JAM が支援しているポプラ郡（メソトの南の隣接地域）にある Hope Migrant Learning Center です。約 170 人だった生徒がクーデター後約 200 人に増加し手狭になっていたところに、暴風雨で古い教室の屋根が破損したため、建て替えの支援を行いました。設計と建設は、以前からメソトで移民学校などの建築支援を行っている NGO の Building Trust International に依頼しました。以前の教室より、大きく丈夫な作りで、両サイドの出入り口には竹でできたメッシュとすだれが配置され、すだれを下げれば雨が避けられ、すだれを上げれば風を通すことができます。天井が高いこともあり涼しいと、先生や子供たちに好評でした。

写真上２枚：教室の破損した屋根

写真上３枚：新しい教室と子どもたち

キッチンの建設を支援したのは、メータオ・クリニックの Child Protection Department から特に困窮の度合いが高いと紹介された、同じくポプラ郡の 48km Migrant Learning Center です。こちらも約 80 人だった生徒数が 110 人に増加、親御さんがミャンマーで働い

ている場合も多いため、寮の生徒も 30 人に増加したそうです。しかし、キッチンの老朽化が著しく、雨漏りで煮炊きするたき火が消え、電気も使えず、食糧も保管できない状態でした。

当初、メータオ・クリニックとは食糧支援を検討していましたが、UNESCO と日本政府が今年ターク県の寮を持つ移民学校に食糧支援を数回行ったこともあって食料は何とかなりそうなものの、日々の料理に支障があるとのことで、キッチンの建て替えを支援することにしました。出来上がったキッチンはシンプルなものですが、洗い場と電気を備え、冷蔵庫と炊飯器が置かれていました。

写真左：建て替え前のキッチン
写真右：新しいキッチン

写真左：UNESCO と日本政府から提供された食糧
写真右：袋の中身のドライフィッシュ、はるさめ、大豆たんぱく質、塩、ナンプラー

写真左：洗い場と飲料水用タンク
写真右：新しいキッチンと子供たち

Hope 校の教室建設費、約 42 万円は情報産業労働組合連合会さまから、また 48Km 校のキッチン建設費約 16 万円は全日本自治団体労働組合さまからいただいたご寄付の一部を、それぞれ充てさせていただきました。ここにあらためて厚く御礼申し上げます。

ひるがえってミャンマー側では、クーデター勃発から 1,000 日目にあたる今年 10 月 27 日に「1027 作戦」と称して、3 つの少数民族や民主派勢力がシャン州で一斉に国軍を攻撃し、多数の国軍基地や中国との貿易拠点の町を掌握しました。戦線の拡大に伴い、国連人道問題調整室によると 11 月末時点で新たに 33 万人を超える国内避難民が発生しました。その一方、国軍から兵士の投降も相次いでおり、各国の報道機関が、クーデター以降国軍が最大の後退を強いられていると驚きをもって報道しています。市民への弾圧に良心が耐え兼ね国軍を離脱した兵士は「CDM soldier」と呼ばれ、以前からメソトにもある程度の人数が逃れてきていました。しかし今回の投降兵についてカレン族の友人は、戦況が不利になり命が惜しくて投降しただけですでに多くの人を殺しすぎたと、苦々し気に語っていました。一方、国軍の劣勢を見て、もうすぐ革命は終わる、そうしたらみんなミャンマーに帰れると、嬉しそうに話すビルマ族の友人もいます。

クーデター以降に発生した国内避難民は、国連人道問題調整室によると 11 月末で 200 万人、また市民の死者はビルマ政治犯支援協会（Assistance Association for Political Prisoners）が確認できただけで、12 月半ば現在 4,256 人にのぼります。メータオ・クリニックでは、亡くならなくとも身体の一部を失った人、ヤンゴンで行うはずだった手術ができなくなり体調が悪化した人、地元で受けていた治療が避難先で続けられず持病が悪化した人などを、毎日のように目にします。来年事態がどう動くのか予測は困難ですが、ミャンマーに真の平和が 1 日も早く訪れるよう、また紛争にただなかにいるすべての人の苦痛が少しでも和らぐよう、祈るだけでは足りないと思いつつ、この年の瀬に祈らずにはいられません。

最後になりましたが、今年も一年間 JAM およびメータオ・クリニックにご支援を賜り、まことにありがとうございました。皆さまが苦境にあるミャンマーの人々の関心を寄せご支援くださるからこそ、JAM もメータオ・クリニックも、活動を続けることができています。来年も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。どうぞよいお年をお迎えください。

国内から

【池村】

みなさま、いつも JAM をご支援くださりありがとうございます。池村と申します。
医療・福祉関係者が中心の JAM の中で非常に数少ない一般会社員なもので、皆様が関心を寄せてくださるような医療・福祉的な話題は一切ございません。
強いて言えば、先日はじめて新型コロナウイルスに感染して寝込んだことです。奥さんと共倒れになりました。しんどかった、できればもう二度とかかりたくないですね。

さて、JAM での私の役割はイベント出展などがメインとなります。直近は東京国際フォーラムで開催されたグローバルフェスタ JAPAN 2023 の出展でした。ブースの内容は非常に大切に考えています。私なりに実践している工夫は以下のようなものです。

・展示物と通路の間を長テーブルなどで仕切らない
→ 仕切りがあると読み物の展示が見づらいですし、スタッフとゲストの間に心理的な壁ができる気がします。仕切りをなくしてゲストがブースの中に入れるようにしています。

・絵や写真を高い位置に展示し、活動紹介などのパネルは目線の高さより下に展示する
→ 絵・写真は訴求力があります。それに高い位置にあれば離れたところからで目に入りやすくなります。これをきっかけにゲストがブースに近づくと目線の高さに読み物のパネルがあるという流れができます。

・少数民族のハンディクラフト展示
→ 各民族の伝統的な模様の織物から作られたハンディクラフトがとても可愛くて、これを見て立ち止まる人も少なくありません。前回の出展までは展示だけにしていましたが、売って欲しいとの声が多かったので、今回は展示販売にしたら殆んど売れました。また仕入れなきゃです。

あと、「メータオ・クリニック支援の会」という名称は活動内容が分かりづらいということが逆に武器になります。話を広げるきっかけになるのです。ちなみに、会の名前から何をやっている団体かわかるかと質問して答えられた人は 0 人です。
聞いてもらえそうな雰囲気が感じられればチャンスです。MTC と JAM がやってることがわかると、とても感心してくださる方が多いように感じます。

オンラインにはオンラインの良さがありますが、やはりイベント出展のような対面の方が伝えられる情報量が圧倒的に多いと、改めて感じたグローバルフェスタでした。

☆ JAM 会報の「国内から」のコーナーに寄稿してくださる会員様を募集しています！☆

現在、このコーナーは、JAM スタッフが交代で書いておりますが、賛助会員の皆様との交流を目的に会員様からの寄稿も募集しております。メータオ・クリニックや JAM との出会いに関するエピソードなどなど、ぜひお聞かせください。

ご興味のある方は、support@japanmaetao.org（日本事務局宛）までお気軽にご連絡ください。お待ちしています！

国際保健医療協力のなかで（57）

【小林　潤】

11 月 24－26 日にグローバルヘルス合同大会が東京大学で行われた。

事前登録が予想よりも少ないとの情報であったが、1500 名以上の参加者が得られて盛会となった。日本国際保健医療学会理事長になって初めての全国大会であり成功に終わったことを安堵するとともに大会主催の皆様の努力に感謝している。日本熱帯医学会、日本国際保健医療学会、日本渡航医学会、国際臨床学会のグローバルヘルス系の合同大会で、海外に積極的にでていくものが多いアウトバウンドの保健医療関係者と、国内でのグローバリゼーションに対応するインバウンドに関係する保健医療関係者が集まった会になった。

大会最後に行われた理事長座談会では、4 学会の合同大会を今後も定期的につづけていくことが確認された。学術的交流の効果以外の理由として、インバウンドとアウトバウンドに関わる人材はオーバーラップしているため連携して人材育成をはかるべきであることが議論された。生涯を通じて海外の現場に居続けることは、思ったよりも難しいかもしれない。まず家族としての生活をどうしていくかは課題になるだろう。子育ての問題、特に国際保健に従事しているものの考える社会環境は男女不平等はありえないだろう。また派遣先が治安が不安定であったり、衛生状況が悪化しているような場所等の生活環境の厳しい場所である場合は、たとえ単身であったとしても長年住み続けられるかどうかは課題になるだろう。

日本国内の保健医療現場での異文化理解のニーズは増大していると断定できる。単に英語での診療ができるだけでなく、異文化理解が求められる。さらに在宅のような保健医療サービスも当然外国人も必要になってきている。こられのサービスが行き届いていない現状は新型コロナ感染症パンデミック下で浮かび上がった日本の保健医療の脆弱性の一つである。

異文化理解の一番の早道は異文化で生活することであり、医学・看護学教育もなるべく早い段階での経験が必要と報告されている。大学教育、卒後の現任教育これらを、国内外の現場を連携させて人材育成を強化する可能性は今増大していて、コロナの後遺症がまだ残る保健医療現場において、チャンスに変えられると思った。海外の現場と国内の現場の人材の循環である。

編集後記

先日、ふと、思い立って、両耳たぶにピアスの穴をあけました。以前もあけていたのですが、しばらくピアスをつけないうちにふさがってしまったので以前と同じ位置にあけました。

そういや、前回あけたときも、阪神タイガースが優勝した時で京都駅の近くの美容外科が優勝セールで星野監督にちなんで片耳 1001 円だったなぁ。今回も阪神が優勝か～、たまたまだけど、と思い出しつつ、今回は、皮膚科で 8000 円くらい払いました。２歳の娘はキラキラしている耳に興味津々で「みみ、かわいー」となでてくれます。

次号の予定

次号は、2 月下旬ごろ配信の予定です。最新情報は、インスタ、ツイッター、ホームページでも、随時更新していきますのでぜひ、お時間があるときにご覧ください。

NPO 法人メータオ・クリニック支援の会(JAM)の活動を支援して下さり、心より御礼を申し上げます。JAM の活動は皆さまからの温かい寄付によって支えられ、院内感染予防活動、移民学校での啓発活動など様々なプロジェクト・設備投資を実施しています。
支援の輪が広がっていけるよう、どうぞ当会の Facebook もフォローして「いいね」や「リツイート」で応援してください。

当会では、都度の支援金の受け入れとともに、「1 日 10 円からの支援」を基本とし、継続的なご支援をお願いする賛助会員制度を用意しております。
【一般会員】3,650 円/年　　【学生会員】1,825 円/年　　【法人会員】36,500 円/年
当会ホームページにアクセスしていただき、お申し込みフォームから会員登録のうえ、指定の口座へのお振込をしていただきますと、賛助会員として登録させていただきます。詳しくは当会ホームページをご覧ください。

◇◆◇

ＮＰＯ法人メータオ・クリニック支援の会
Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM)

日本事務局 email	support@japanmaetao.org
JAM ウェブサイト	www.japanmaetao.org
Facebook	Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM)　で検索して下さい。 https://www.facebook.com/JapanAssociationforMaeTaoClinic/
Instagram	https://www.instagram.com/japan_association_maetaoclinic/
Twitter	https://twitter.com/japanmaetao

※掲載されている全ての内容、文章の無断転載を禁止します。

◇◆◇